

ふじ鮨 小樽店

- 物件名：ふじ鮨 小樽店
- 住所：堺町5-36
- 電話：33-0232
- 所有者：株式会社美国ふじ観光
- 運営：佐藤勝次（代表取締役）
- 主任と人員：佐藤孝次（料理長）15人
- 建物履歴：
 - 大正2年 稲積倉庫合名会社が賃貸
 - 昭和62年 おたる織物Kazu使用
 - 平成3年 ふじ鮨小樽店所有
 - ※ふじ鮨創業 昭和45年
 - 小樽店は積丹、ニセコに続き3店目
 - ※稲積倉庫合名会社
 - 明治40設立 代表社員 稲積豊次郎
 - 「第一より第五までの倉庫を有す」



外観

■外観

- ①瓦屋根、石壁の修復
- ②銅材によるふじ鮨の家紋

■内観

- ①開口部工事／排煙開口部、入口開口部。
- ②階段／不特定多数のお客様が昇降できる階段を整備。
- ③腰板／梁に合わせて節のある木材にオイルステンを塗布し、重厚感を出すために厚い板材を腰板に。

■内容

積丹本店のふじ鮨はニセコ進出と同時に、観光化しつつある小樽への進出を計画。

堺町に丁度良い物件があり、歴史的建造物であったことは想定内だった。当時はまだ小樽には「小樽寿司屋通り」もなく、まして堺町には寿司屋がなかったことで決断。飲食店であることは清潔感が第一。腰板や床をはじめ清潔な内装を和風で演出。

■コンセプト

佐藤社長は根っからの職人ではあることから、目の届く範囲で自ら管理監督し誰よりも責任感が強い。したがってスタッフには言葉で経営姿勢を伝えるより、行動や後ろ姿で指導。

■客層

4割が地元客で6割が観光客。観光客のうち3割がアジア系外国人。



1階小上がりにもこだわりと品格が伝わる



石壁と梁を生かした店内



灯り取りの開口部



銅板仕様の家紋



佐藤孝次氏